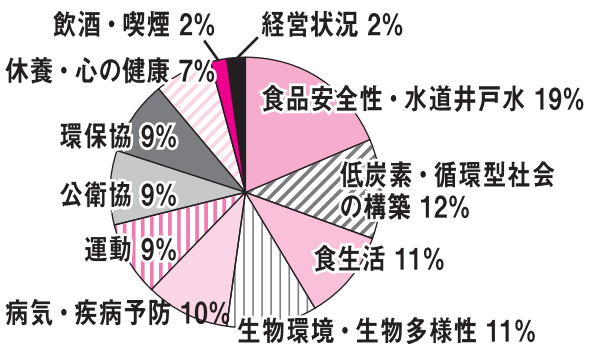
平成29年度 情報紙「環境と健康」読者アンケート結果

情報紙「環境と健康」は、公衛協の実践活動に係る事業広報と事業実績を迅速に集積し、公衛協相互の共有を図ること、先進事例の紹介や団体間連携の活性化を図り、実践活動を全国に発信することを目的に発行、頒布しています。

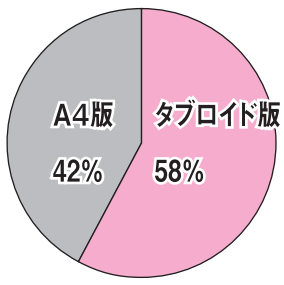
平成26年度、27年度に公衛協の代表者および事務局を対象としたアンケート調査を実施しました。今年度は対象を全読者に拡大し、掲載内容や紙面サイズのほか、WEBやSNSによる情報共有の活用状況について調査しました(結果は左のとおり)。

情報紙7月1日号(第594号、発行部数9千600部)にアンケート用紙を挟み込み、アンケート回答後、ポストに投函する方法で、22公衛協147人、14地球温暖化対策地域協議会49人、9自治会18人など計181人から回答が寄せられました(調査期間：平成29年7月1日～9月末日)。

興味のある項目



紙面サイズ



○回答者の58%がタブロイド版を支持しました(平成27年度は53%)。
○文字サイズは89%が「ちょうど良い」、情報量は82%が「ちょうど良い」、紙面の雰囲気は96%が「読みやすい・ふつう」と回答し、現行紙面のデザインを支持しました。
○興味のある項目は、食品安全性や水道井戸水に関するものが19%と多く、低炭素や循環型社会の構築に関するもの、食生活に関するもの、生物環境や生物多様性に関するもの、病気や疾病予防に関するものなどが僅差で並びました。

【調査結果の反映】
○調査結果を受けて、紙面サイズは当面「タブロイド版」とします。
○各分野の要望を的確に把握し、要望の多い項目の掲載に努めます。

私のクールチョイス⑨

COOL CHOICE

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

【買い換え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

公衛協、TEAMで活躍されているみなさんと、環保協の役職員が日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」を紹介します。

【ライフスタイル】(太陽熱温水器と分別・資源化の推進)

農業をしているので、夏場はサラダなど加熱調理をしないメニューが増えます。また、グリーンカーテンで冷房をあまり使わずに過ごせました。風呂給湯は太陽熱温水器を使い、追い炊きせずにすむように夫婦続けて入ります。生ごみの水切りなどによる減量のほか、菓子箱などの厚紙、広告紙を含め資源ごみの分別に力を入れています。イベントで取り組んだ「まつりのごみダイエット作戦」では、集めた90kgのごみのうち70%を資源化し、多くの人と分別の大切さを共有しました。

地球温暖化をはじめ環境分野の取り組みは、大勢で取り組むことが大事です。みんなで協力して、住み良い環境を目指しましょう。

(箕田　英紀さん／三次市公衆衛生推進協議会会長)

【ライフスタイル】(暖房機器に頼らない防寒・保温グッズの活用)

寒い冬を温かく過ごすために、首、手首、足首の3つの首を温めると効果的です。私の一押しは、レッグウォーマーの活用です。温かい空気は部屋の上部に、足元に冷たい空気が溜まるので、足元を温かくすると、室内温度が多少低くても快適に過ごせます。

環境啓発のリフォーム講座で作った「セーターを使ったレッグウォーマー」が大変暖かく、毎年新たに作って活用しています。最近はスポーティーなデザインのものも市販されており、女性はもちろん、男性にもおすすめです。今年の冬は、エコで暖かに過ごしてみませんか?

(青山　範子さん／くれ環境市民の会副会長)

【買い替え・ライフスタイル】(エコカーへの買い替え、過剰包装ではない商品を選ぶ)

電灯、電気製品や冷暖房をこまめに消すこと、エコドライブなどを心がけています。昨年ハイブリッドカーに買い替え、給油回数が2/3になりました。買い物はエコバッグですが、最近、食品の過剰な包装が気になります。ごみの半分近くが容器包装ごみ(リサイクルプラ)です。昭和35年頃は持参した容器に入れてもらう、古新聞などによる簡易な包装が中心で、ビール瓶や酒、しょうゆ瓶などもほとんどがリユースでした。見た目や衛生面、保存性も大事ですが、不必要な包装がない商品を選ぶことも大事です。

将来を担う子どもたちに温暖化の現実を伝え、自分たちで何ができるか、一緒に考え取り組みたいですね。　(栢木　稔さん／一般財団法人広島県環境保健協会事務局長)

表彰者一覧

県大会で表彰された団体、個人は次のとおり。おめでとうございます。(敬称略)

県知事表彰を受ける受賞者

広島県知事表彰

【公衆衛生地区組織活動功労】
団体の部：栗原北地区公衆衛生推進協議会(尾道市)
個人の部：三上弘三、西川博夫、飯田澄雄、河地義孝、中村君江(以上、広島市)、廣川昭慶、平川輝司(以上、福山市)

【健康増進栄養関係功労】
団体の部：思いやりがはぐくまれる交流空間　元気創造くらぶ(府中町)
個人の部：永本貞子(尾道市)

【母子保健活動功労】
個人の部：波多野修一(東広島市)、相原克昭(広島市)

【歯科保健活動功労】
個人の部：田中謙一、川原正照(以上、広島市)

広島県医師会長表彰

【保健衛生活動優良地区】
西高屋地区公衆衛生推進協議会　歩こう会(東広島市)

広島県環境保健協会表彰

【地区衛生組織活動功労者】
小倉儀明(府中町)、門屋　洋(海田町)、石渡英明(坂町)、伊勢木武(江田島市)、吉田喜美江(竹原市)、吉本孝資、藤中久子(以上、廿日市市)、原本弘子、福島とよ子(以上、廿日市市大野)、伊賀太、大垣博之、神田悦子、中冨良子(以上、東広島市)、國原英行(世羅町)、藤岡美智子、小畠憲明、岡田正美(以上、尾道市)、相原泰造、小林佳子、江草孝昌、三島　繁、高垣勤、橘髙勇一(以上、福山市)、花田博義(府中市)、加藤　誠、中　敏明、和田信子(以上、三次市)、中塩幸一、中本政人、古谷　哲、友井　輝道(以上、呉市)

環保協表彰を受ける受賞者

【地区衛生組織活動優良団体】
熊野町公衆衛生推進協議会(熊野町)、安芸高田市公衆衛生推進協議会吉田支部(安芸高田市)、山福田地区公衆衛生推進協議会(世羅町)、菅野地区環境衛生推進協議会、土生町衛生組合、片側町内会(以上、尾道市)、神石高原町公衆衛生推進協議会(神石高原町)、第1地区室瀬町自治会、第5地区上山田町自治会、広東部地区広町白石自治会(以上、呉市)

【地区衛生組織活動育成功労者】
荒川幸子(竹原市)、住友唯夫(大竹市)、藤田千紀枝(北広島町)、瀬尾敏治(福山市)、髙原芳典(庄原市)

【環境と健康のコミュニティ大賞】
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会(大崎上島町)、安芸太田ウォーキング大会実行委員会(安芸太田町)、三原市公衆衛生推進協議会(三原市)

受賞者の皆さん

感謝状(60周年記念式典)

【公衆衛生推進協議会】これまで多年にわたり公衆衛生活動に精励され、地域の発展推進に大きく貢献された公衆衛生推進協議会27団体に感謝の意を表して感謝状を贈呈しました。

【地球温暖化対策地域協議会】地球温暖化防止を実践する推進団体として、10年を越える長きにわたり活動を続けている14団体に感謝状を贈呈しました。